

# 【5月・1歳児・高月齢】

ほいくのおまもりプラス

	Aさん(高月齢/男児/活発) (2歳1カ月/4月生まれ)	Bさん(高月齢/女児/活発) (2歳0カ月/5月生まれ)	Cさん(高月齢/男児/静か) (1歳11カ月/6月生まれ)	Dさん(高月齢/女児/静か) (1歳10カ月/7月生まれ)
子どもの姿	1. 担任以外の保育者に午睡の援助をされることを嫌がり、「いや」と言って怒ったり泣いたりする姿が見られた。 2. 園庭では、好奇心を持って様々な場所を探索し、玩具を見つけると取り出して遊んでいた。 3. 登園時の涙や不安な表情が減り、室内に入ると自分から気に入った玩具で遊び出すようになった。	1. 尿意を感じたときやオムツに排尿した際に、もじもじしたりオムツに触れるなどのしぐさが見られた。 2. 泣いている子を気にして近づき、顔をのぞき込んで名前を呼びかけたり、保育者のまねをして、背中や頭を優しく撫でてあげる姿も見られた。 3. 戸外遊びに向けて、靴下や靴を自分で履こうとするが、うまくできずに怒ることがあった。		
ねらい	1. 思いを受け止められながら、安心して過ごす 2. 探索活動や好きな遊びを十分に楽しむ	1. 尿意や排泄を言葉やしぐさで伝えようとする 2. 保育者や友だちと関わる楽しさを感じる		
内容	1. 信頼する保育者にトントンしてもらったり、子守唄を歌ってもらうことで、心地よさを感じながら安心して眠る。 2. 園庭で探索を楽しみながら、好きな玩具や玩具を見つけて遊ぶ。	1. 尿意を感じたりオムツに排泄したことを、言葉やしぐさで自ら保育者に伝えたり、察してもらい、安心してオムツを交換してらったり、トイレで排尿する。 2. 保育者や友だちとわらべうたあそびを楽しむ中で、歌に合わせて一緒に体を動かしたり、ふれあう心地よさを味わう。		
環境構成 配慮 援助	1. 職員間で連携しながら、信頼する特定の保育者が安定して関わり、徐々に一人で安心して入眠できるように援助する。体を優しくトントンしたり、子守唄を歌いながらそばで見守るなど、本児の様子に合わせて関わり方を調整し、安心感を育んでいく。 2. 自由に探索する姿を見守り、本児が何かに興味を持ちたり発見したときには、「何を見つけたの?」「良いものがあったね」と声をかけて寄り添い、楽しさに共感する。砂遊びや車などの園庭用玩具を取り出しやすい場所に配置し、主体的に選べるよう配慮したり、玩具で遊ぶ際は、必要に応じて「手でぎゅっと握ろうね」「ゆつくりのぼろうね」と優しく声をかけ、安全に遊べるよう援助する。	1. 本児の排尿前のサインを見逃さず、「トイレに行く?」と優しく誘い、排尿できたときは「間に合ったね」「すっきりしたね」と喜びに共感し、自信につなげる。また、本児なりに尿意や排泄を伝えられたときは、大いにそのことを認め、安心感と意欲を育みながら、次へとつなげていく。 2. 落ち着いた環境で、保育者との一対一や、友だちを交えた少人数でのわらべうたあそびに誘う。周囲の安全に配慮しつつ、「おらふねが、ぎゅっらこ」に合わせて手をつなぎながら体を揺らしたり、「いっぽんばしこちよこちよ」「ここはつくび」を通して、心地よいふれあいを楽しめるようにする。		
食事	・本児の好き嫌いを受け止めつつ、保育者がおいしそうに食べる姿を見せたり、「Bさんも食べているね」と友だちの様子を伝え、徐々に興味を持てるようにする。 ・スプーンで食べる姿が増えてきたため、「スプーンですくえたね」と本児の姿を認める声かけをして自信を育み、食べにくそうときはさりげなく手を添えて援助する。	・よく噛まずに飲み込む姿が見られるため、「カミカミしようね」と声をかけたり、保育者がよく噛んで食べる姿を見せる。 ・苦手な食材でも保育者の援助で食べられることが多いため、本児の様子に合わせて介助したり、少量をスプーンですくって渡し、自分で口に運べるようにし、食べられたときは大いにほめ、次への意欲につなげる。		
家庭との連携	3. 本児の成長や日々の様子を、送迎時や連絡帳を通じて丁寧に伝え、保護者が安心できるようにする。 ・日中の気温が上がる時期のため、調整しやすい衣服での登園をお願いし、薄手の長袖や半袖の着替えを徐々に準備してもらうよう伝える。	3. 自分でやろうとする姿を見守りつつ、さりげない援助や声かけを行い自信につなげるとともに、家庭でもその姿を大切にもらえるよう、本児の様子や園での関わり方を丁寧に伝えていく。 ・布パンツに興味を示しているため、園用にも用意してもらい、本児の様子に合わせて短時間から着用できるようにする。		
評価・反省	1. 生活の流れに慣れ、給食後は午睡に向かい、信頼する保育者がそばにいることで安心して、自分で入眠する姿が増えてきた。本児の様子を見守り、状況に応じて適切に関わっていく。 2. 乗って遊べる車が気に入り、園庭に出ると真っ先にしまっておく場所へ向かい、遊んでいた。友だちが使用して空気がないことがわかると、無理に取ろうとする姿が見られたため、ケガを防ぎながら思いの橋渡しをし、順番に使えるよう援助する。	1. 「トイレ行く」と言葉で伝えたり、保育者のそばに来てしぐさで表現する姿が増えてきた。トイレに間に合わなかったときは、本児の自尊心を傷つけないよう配慮しながら関わり、焦らず意欲を育てる。 2. 友だちの名前を呼びかけて手をつなごうとしていたり、保育者のまねをして、友だちをくすぐってあげながら楽しんでいた。子ども同士のやり取りを見守る中で、必要に応じて手や言葉を添えて仲立ちし、楽しく安全に関わることができるよう援助する。		

無料版:2名分  
↓  
有料版の  
"おまもりプラス"  
は12名分が  
閲覧&DL可能!

子どもの姿の1, 2は『ねらい/内容/環境構成/配慮/援助/評価/反省』、3は『家庭との連携』と連動しています。

敬称と性別表記:ウェブサイトに当社方針を記載しております。

# ほいくのおまもり **Plus!**

## ダウンロードのお礼とおまもりプラスについて

この度は個人案をダウンロードいただき、ありがとうございます！

ほいくのおまもりプラスでは、性別／タイプ別／月齢別の12名分の個人案(0,1,2歳児)をご用意しています。更に…

- 無料版の2倍の月案文例
- 丸1ヶ月分の月～金の全ての週案
- 毎月45個の製作型紙
- 毎月2つのスケッチブックシアター
- その他、会員だけのコンテンツ

これだけ揃って、月額**980円+税**の大特価！気になる人は、以下からおまもりプラスのサービスを確認してみてくださいね。



## 文例ご利用時の注意事項

- 提供される文例は、一般的なケースを想定して作成されています。ご自身の具体的な状況やニーズに合わせて適宜修正を加えてご利用ください。
- 文例の利用によって生じたいかなる結果についても、当サービスは責任を負いかねます。自己責任においてご使用ください。
- 文例は参考としてのみご利用いただき、直接のコピー＆ペーストではなく、ご自身の言葉で表現を加えることをお勧めします。
- 法的な文書や重要な契約に関する文面は、専門家のアドバイスを受けて作成することをお勧めします。
- 文例の著作権は当サービスに帰属しています。無断での再配布や商用利用はご遠慮ください。